

おとん

平田昌広／ぶん
平田景／え 大日本図書

子どもと携帯電話に関する問題について、「子どもはケータイを何に使っているか」、「ネットいじめの実態」、「有害情報をどう規制するか」、「親、教師、社会ができること」など具体的に紹介した本です。

少年スポーツ体の
のつくり方!

立花龍司／著 西東社

10歳前後の少年期を中心としたトレーニング指導書。運動神経や筋肉を発達させるトレーニング、柔軟な体をつくるトレーニングを写真で解説。体をつくる基礎知識、ケガの応急処置、小学校低学年のトレーニングにも触れる



※ここに掲載の本は、市内の全ての図書館(図書室)で借りることができます。

休 9月の休館日 1日(月)、8日(月)、16日(火)、22日(月)、25日(木)、29日(月)
毎週月曜日と第4木曜日(祝日にあたる場合はその翌日)

※24日(水):米原公民館図書室・ジョイいぶき図書室は休館。

※25日(木):米原公民館図書室・ジョイいぶき図書室は開館。

問 山東図書館 ☎55-4554 近江図書館 ☎52-5246

学校裏サイト

進化するネットいじめ

渋井哲也／著 晋遊舎

テクノロジーの発達とともに、子どもたちの「いじめ」の手口も驚くべき進化を遂げた。一連のいじめ事件の背後にあると噂される「学校裏サイト」とは何なのか。大人たちの知らない子どもだけの利用方法を究明する。



9月のおはなし会

9/ 7 (日)10:00- ジョイ伊吹 研修室

9/ 7 (日)14:00- 山東図書館 おはなし室

9/18 (木)11:00- 近江図書館 おはなしのへや

9/21 (日)14:00- 山東図書館 おはなし室

9/25 (木)10:00- 米原公民館 図書室

※おはなし会はいずれも予約不要、入場無料です。
お気軽にお越しください。

わたしの
ゆるり時間
に



道の駅伊吹の里から姉川沿いに車で北上すること約20分。大きな石臼をモチーフにした公園のある村が『石臼の里(曲谷)』。石臼の材料である花崗岩は、硬いがゆえ加工が難しく、7つ作っても1つくらいしか成功しなかったという。公園には昔石臼を作った時の失敗作品がいくつも重ねられていて早くもその名残を見ることができた。他にもあるのではと思い集落内へ続く道を歩き始めた。坂が多い。首に巻いたタオルで噴出す汗をぬぐった。

山沿いの段々畑で農作業をしていた世代(78歳)に話を聞いてみた。「曲谷には昔多くの石工がおったよ。五色の滝の近くの石切り場で石を切って里まで運んどったんや。曲谷の石臼は湖東・湖北。遠くは美濃にまで流通

原記
米歩

石臼の里

生活を支えた7分の1の作品

曲谷

またに

いろいろな話を聞かえ、また山の段々畑に向かう世代さんの後ろ姿はかつて石切り場へ向かう曲谷の民のようだった。

曲谷内を歩いて見ると石垣のいたる所で石臼作りの失敗作品が使われている。道から玄関へと向かう階段に使われている家もある。その円形が並んだ階段は美しい幾何学模様をできていてとても趣きのあるものだった。昔はちゃんとりサイクルしていたんだと改めて感じた。今もなお曲谷の人々の生活の中に溶け込んでいる石臼。その昔、曲谷の石臼は各地に広まり人々の生活の中でさまざまな穀物を粉に変え、団子などにして食するという食文化を広め支えていたのではなだらうか。

しとったんよ。その昔、木曾義仲の祐筆として活躍した覚明は、義仲を失った後仏門に入り曲谷を訪れ、良質の花崗岩が散在することに気付いた。そこで故郷の木曾より石工を招いて石臼の業を伝えたと。その後覚明は高僧法然より西仏坊の名を受け、曲谷に円楽寺を建立し、自像を彫り残しこの地を立ち去ったという。この像は今も円楽寺に大切に祀られている。